



政策目標3 安心、共生の暮らしづくり

政策6

人と豊かな自然との共生

政策分野

- 22 低炭素・循環型社会
- 23 自然環境・生活環境
- 24 公園・緑地



政策分野22

低炭素・循環型社会



目指す姿

省エネルギーや再生可能エネルギーが普及し、資源循環型のライフスタイルが根付く、環境への負荷が少ないまち

着眼点

- 地球環境においては、世界の平均気温の上昇が大きな問題となっており、2015年パリ協定にあるように、温室効果ガスの削減が喫緊の課題として認識されています。本市においても、こうした世界共通の課題を身近な問題として認識し、地球温暖化防止の対策に積極的に取り組むことが求められています。
- 良好な生活環境を維持しながら地球への環境負荷を低減するため、廃棄物の適切な処理に加えて、大量生産・大量消費の社会・経済のしくみを変え、物や資源を大切にし、繰り返し利用していく「資源循環型社会」への転換が求められています。

施策1 環境負荷の低減

快適で豊かな暮らしを実現できるよう、省エネルギーや再生可能エネルギーの普及促進をはじめとする環境施策を推進し、自然・生活・経済の調和のとれたライフスタイルを実現します。

主な取組

- ①再生可能エネルギーの普及促進
- ②省エネルギーの推進
- ③地球温暖化防止に関する環境意識の醸成

施策2 ごみの減量化

循環型社会の実現に向けた3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組の中で、そもそもごみが発生しないライフスタイルを目指し、2R(リデュース、リユース)を重点的に推進していきます。また、リサイクルを継続して行うことにより、資源の有効利用とごみの最終処分量の減量化を図ります。

主な取組

- ①2Rの推進によるごみの減量化の実現
- ②分別の徹底によるリサイクルの推進
- ③市民・事業者と一体となった、ごみの出ないライフスタイルの実現

施策3 廃棄物の適正な処理

廃棄物の収集運搬の充実、広域的な廃棄物処理及び廃棄物処理施設の高度化などの取組により、効率的な廃棄物処理を推進します。

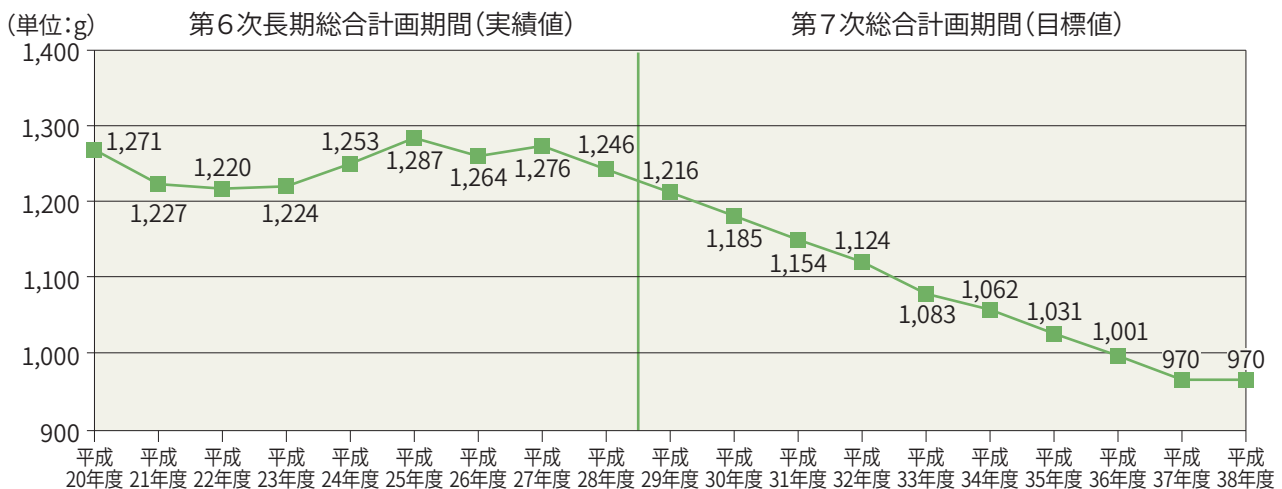
主な取組

- ① 廃棄物収集運搬体制の充実
- ② 新たな廃棄物処理施設の建設計画への参画

重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	目標値
再生可能エネルギー発電施設の設備容量	199,046kW(平成27年度)	236,205kW(平成35年度)
ごみの総排出量(ひとり1日あたり)	1,276g(平成27年度)	970g(平成37年度)

ごみの総排出量(ひとり1日あたり)



これまでの取組

再生可能エネルギーや省エネルギーの推進

- 第2期環境基本計画や地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、市民や事業者の方々と市が連携協力して再生可能エネルギーや省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出削減を図っています。

ごみの減量とリサイクルの推進

- ごみの分別排出の徹底とプラスチック製容器包装リサイクルの推進として祝日の収集を進め、分別排出の機会を拡大しています。

政策分野23

自然環境・生活環境



目指す姿

市民一人ひとりが環境保全・美化意識を持ち、豊かな自然に囲まれた、きれいで快適な生活環境が整ったまち

着眼点

- 猪苗代湖の水環境は、市民等と協働した水環境を守る様々な取組の展開により、水質改善の兆しが表れてきていることから、将来にわたり、これらの取組を継続することが有効です。
- 環境美化に関する市民の環境意識の高まりなどにより、犬ふんの放置やポイ捨て件数は減少傾向を示していますが、生活環境の向上や観光都市としてのおもてなしの観点から、引き続き、モラル向上に向けた意識啓発等に取り組む必要があります。
- 企業活動等による公害への苦情・相談が減少傾向にある中、市民生活に密着した都市型・生活型公害への対応が求められています。

施策1 豊かな自然環境の保全

自然環境の保全に関する意識啓発を行うとともに、様々な主体と環境保全につながる取組を推進します。

主な取組

- ①自然環境保全に向けた環境意識の啓発や環境教育の推進
- ②野生生物の生息環境の保全
- ③市民、関係機関と連携した猪苗代湖等の環境保全の推進

施策2 快適な生活環境の保全

良好な環境の中で快適に生活ができるよう、市民の参画のもと公害防止と生活環境の保全、まちの美化を推進します。

主な取組

- ①公害の未然防止に向けた河川水質等の各種環境調査の実施
- ②生活排水対策に関する意識啓発等の都市型・生活型公害対策の推進
- ③ポイ捨てや不法投棄対策等のまちの美化推進

重要業績評価指標(KPI)

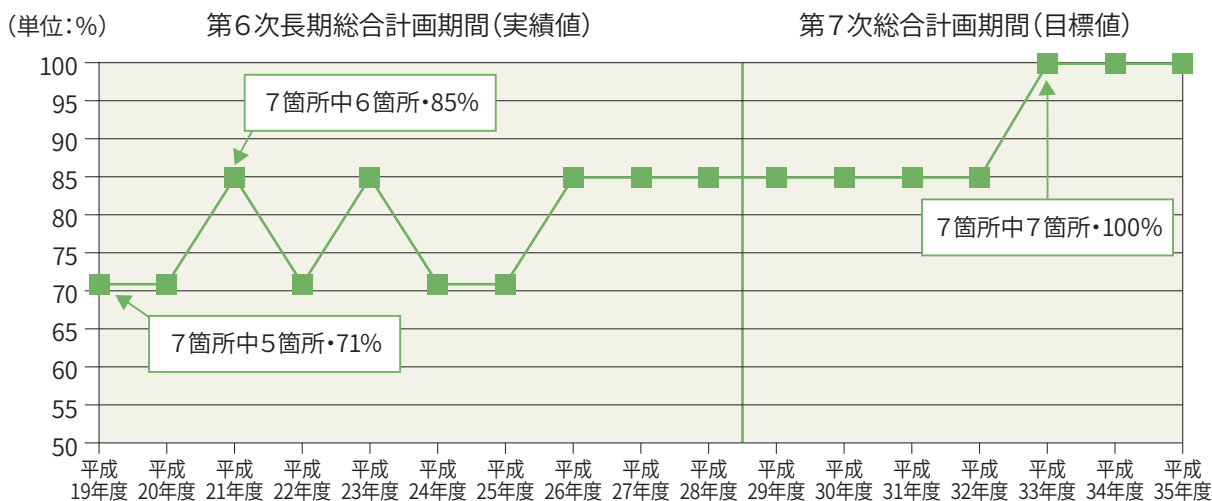
項目	現状値	目標値
猪苗代湖の水質(湖心部COD75%値)	1.1mg/ℓ (平成27年度)	0.5mg/ℓ以下 (平成32年度)

※湖沼や河川等の水質が環境基準に適合しているかを判断するための指標を用いて、自然環境保全策を評価します。

湯川の水質の環境基準達成箇所数 (BOD75%値)	7箇所中6箇所 (平成27年度)	7箇所中7箇所 (平成35年度)
------------------------------	---------------------	---------------------

※湖沼や河川等の水質が環境基準に適合しているかを判断するための指標を用いて、生活環境保全策を評価します。

湯川の水質の環境基準達成箇所数(BOD75%値)



これまでの取組

自然環境の保全、公害対策の推進

- 県や流域市町村、各種団体等と連携した猪苗代湖の水質改善に向けた実践的な活動や、市内河川の水質調査の継続的な結果の公表により、環境意識の高揚を図っています。

まちの美化推進

- 地区の環境美化推進協議会や各種団体と連携した環境美化活動として、一斉啓発や清掃活動等を実施し、ポイ捨てや犬ふん放置の防止などのマナー向上や美化意識の高揚を図っています。

政策分野24

公園・緑地



目指す姿

公園や緑地など、誰もが集える、快適な憩いの空間が整ったまち

着眼点

- まちの緑化・美化を推進し、市民はもとより観光客など誰からも親しまれる緑豊かな環境を整えていくことが求められています。
- 市民の共有の財産である鶴ヶ城公園については、石垣やお濠などの公園施設を適切に維持管理し、市民の憩いの場として、また史跡公園として保全していく必要があります。
- 公園遊具や施設については、予防保全に重点をおいた維持管理を行うことで長寿命化を図り、安全で快適な公園施設を提供していく必要があります。

施策1 安全で快適な憩い空間の提供

地域における様々な主体と共に緑化・美化を推進します。また、公園や緑地、農村公園、児童遊園、広場等を適切に管理し公園施設の長寿命化を図ることで、安全で快適な憩いの空間を提供します。

主な取組

- ① 市民協働による市街地の緑化・美化の推進
- ② 適正な維持管理による鶴ヶ城公園の保全
- ③ 安心・安全な公園・緑地の管理
- ④ 予防保全型管理による公園施設の長寿命化の推進
- ⑤ 市民ニーズに合った墓園等の管理

重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	目標値
花と緑のスタッフ登録者数	75人(平成27年度)	90人(平成38年度)

※公共施設花壇の維持管理や花苗生産活動を通して、市民参加による「美しいまちづくり」を推進する市民ボランティアの人数。

公園等緑化愛護会登録団体数	79団体(平成27年度)	85団体(平成38年度)
---------------	--------------	--------------

※町内会等を母体とし、地域の公園・緑地の緑化美化を行う市民団体の数。

公園施設長寿命化10箇年計画の進捗率	25%(平成27年度)	100%(平成36年度)
--------------------	-------------	--------------

※公園施設長寿命化計画における対象施設のうち、優先度の高い施設の補修・更新計画(10箇年)の事業費ベースの進捗率。

これまでの取組

花と緑のある都市環境の創出

- まちなかに花や緑を増やす取組として、花苗生産基地において、市民の皆様による「花と緑のスタッフ」を中心に協働で花苗を生産し、市内の公共施設への植栽や庁舎・小中学校への配布などを行い、まちなかを花で彩り、地域の緑化美化を推進してきました。
- 地域による公園等緑化愛護会の日常的な維持管理活動を支援し、地域の身近な緑あふれる憩いの場として、また安心して遊べる場として、公園・緑地づくりを推進してきました。
- 花と緑のボランティア活動を通じた地域の連帯感やコミュニティ意識の拡大など、協働による地域社会づくりに寄与してきました。

鶴ヶ城公園の適正な維持管理

- お濠への導水や定期的な水質調査の実施により、良好な水質保全に努めてきました。

会津総合運動公園の整備

- あいづ陸上競技場の整備やあいづ球場スコアボードの改修等を行い施設利用者の利便性の向上を図るとともに、わんぱく広場に複合遊具施設等を設置するなど、スポーツ・レクリエーションの拠点として会津総合運動公園の整備に取り組んできました。

みなさんの声に応えます

- 町内会等を母体とする「公園等緑化愛護会」のボランティア活動を支援し、公園・緑地の愛護活動により、地域の緑化美化を推進します。